

2021年度 第1回幹事会 議事録

日時：2021年6月27日 10:00～11:05

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席者：福田会長、納口副会長、木南副会長、伊藤副会長、近藤副会長、八木会長補佐常務理事、関司財務担当常務理事、作山和文誌編集常務理事、中谷英文誌担当常務理事、金田企画担当常務理事、加治佐国際担当常務理事、鈴木総務担当常務理事（順不同）

欠席者：淡路開催校担当常務理事、保永情報担当常務理事、杉田学会賞・国内学術交流担当常務理事（順不同）

事務局：齋藤，諏訪（共立）

議事録作成：鈴木

議事 1. 会長挨拶

○福田会長よりご挨拶があった。

議事 2. 幹事会メンバー及び事務局担当者の紹介 資料 2

○八木常務理事より幹事会構成メンバーおよび事務局担当者の紹介があった。

議事 3. 今年度の主要会議，大会準備等のスケジュールについて（総務）【報告】資料 3

○八木常務理事より会議・大会等のスケジュールに関する報告があった。

→原案通り、承認された。

議事 4. 2022年度龍谷大学大会について

4.1. 2021年度茨城大学報告（総務・企画）【報告】資料 4-1

○八木常務理事より、昨年度の茨城大会に関する福与前常務理事作成の資料について報告があった。オンラインによる実施については全体にスムーズな進行であり、オンライン実施を早めに決めたことから会場キャンセル料も生じなかったことなどが報告された。

○大会参加費の徴収システムについては、今後対面での現地開催が行えるようになっても使えるのではないかという意見も聞かれた。

（金田常務理事）要旨集の取扱について検討いただきたい。2021年度大会では、大会要旨集を特設サイトのみに掲示したが、特設サイトは既に閉鎖され要旨集は現在見られない状態。ただ、開催中止になった2020年度は要旨集をホームページ上にアップしていた。今後の方針として、次の2つの方法が考えられる。

①予稿集の掲載は特設サイトのみとし、特設サイト開設期間終了後は見られない状態になって構わない

②要旨集を2020年度に倣ってホームページに載せる

(福田会長) この点については、常務理事会までに案を固めて審議するという方向でよろしいか。

(金田常務理事) どちらがより好ましいかさらに検討して常務理事会に議案を提出したい。

4.2. 大会の持ち方について (企画) 【報告・審議】 資料 4-2

○木南副会長より、2022 年度大会 (龍谷大学) の持ち方について報告があった。現地開催、オンライン開催のどちらも可能性があるので、現時点では両方の開催方法を並行して検討している状態。

○9 月 1 日の大会の予告の段階では現地開催かオンライン開催かということに関しては明確に書けないのではないか。昨年度のスケジュールを見ながら、開催方法を定めるタイミングは見極めていきたい。

○大会テーマについては理事にアンケートを行った。コロナの話題、SDGs などのテーマが挙げられた。テーマを絞る方向性としては環境面にばかり重点を置かなくても良いという意見があった。座長候補者としては秋津元輝会員が推薦された (内諾済)。

○大会は半日で良いという意見も多く、今後詰めていきたい。

(福田会長) シンポジウム報告者は企画委員会で決めることになるのか。

(木南副会長) そのように考えている。昨年は理事会発足が遅かったことから、人選が 8 月以降となった。9 月の段階では固まっていなかったと思う。そういう意味では今年は少し早めに 7 月の常務理事会である程度の方向性が提案できると良い。

(福田会長) 7 月の常務理事会で審議できるようお願いします。大会の基本的な方向性は確認されたので、常務理事会に向け詳細を企画委員会で詰めていただきたい。

4.3. 龍谷大学大会の準備状況 (大会開催校) 【報告・審議】 資料 4-3

○淡路常務理事がご欠席のため、八木常務理事より開催校の準備状況について報告があった。大会実行委員長は龍谷大学の末原達郎先生。近畿地方で緊急事態宣言が発令された場合には現地開催の大会は開けなくなる。懇親会は設定しない方向で検討。

○報告内容については了承された。特段の質問等なし。

4.4. 2023, 2024 年度開催校について (企画) 【報告・審議】 資料 4-4

○2023 年度の開催校は青山学院大学にお願いすることが決まっている。具体的にはアジア農業経済学会大会との共催ということもあり、加治佐先生、伊藤先生らとの調整が今後必要。

○具体的には来期の執行部の調整になるので十分な引き継ぎが必要。また、アルバイト等の確保にあたっては周辺大学からの応援が想定されている。

○2024 年度開催校は 2022 年 3 月までに決めたい。

(木南副会長) 2020 年度開催中止となった東北大学の意向を尊重して決める必要があると

の申し送りが前任者からあった。昨年度段階では、東北大学は開催に意欲を示していただいていたようである。

○内容については了承された。

5. 国際担当報告【報告】資料5

○伊藤副会長より、報告があった。

○延期になった国際シンポジウムを2022年度龍谷大学大会において実施する方向で企画担当と調整しながら検討を進めている。

○日韓学术交流協定について、韓国農業経済学会会長より、新型コロナ終息を待って協定調印を対面で行いたい旨申し出があった。

○第31回国際農業経済学会の参加登録の受付が始まった。学生会員からJB賞の推薦が3名の会員からあり、認めることとしたい。

○延期となっていたアジア農業経済学会北京大会の日程が12月6日から8日に決定した。発表論文の要旨提出の締切は8月31日となっている。

○本学会のHPで上記の両国際学会に関する情報提供を行っている。

○内容については了承された。特段の意見なし。

6. その他

○なし

今後の予定

○7月25日 10:00～ 常務理事会

閉会